

優れた防水力
優れた耐久力

アサヒペン

酸性雨や排気ガスに強い

水性かわら用

日光や雨から長期間まもる

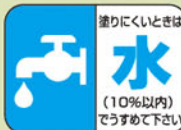
ツヤあり

コロニアル
カラーベスト
スレートかわら
セメントかわら

3L

標準塗り面積 (2回塗り)

7~8.5^坪 12~14^{m²}



塗りにくいときは
水
(10%以内)
でうすめて下さい

乾燥時間

夏期/30分~1時間
冬期/ 2~3時間

塗り重ね時間の目安

夏期/2時間以上
冬期/6時間以上



無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません

注意書きをよく読んでから使用して下さい。



商品名	水性かわら用
品名	合成樹脂塗料(水系)
成分	合成樹脂(アクリル樹脂)、顔料、水
特長	●優れた防水力・耐久力で長期間日光や雨からかわらを守ります。 ●酸性雨や排気ガスに対して優れた保護効果を発揮します。 ●優れた防水力・耐久力で長期間日光や雨からかわらを守ります。

- 伸びがよく、ハケさばきが軽いのでたいへん塗りやすい塗料です。
- コロニアル・カラーベストなどの新生瓦、スレート瓦や各種セメント瓦に最適。そのほか、コンクリートのカベやヘイにも塗れます。
※モニエル瓦、いぶし瓦、釉薬瓦、日本瓦、素焼瓦には塗れません。

塗り方

- はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
- ひび割れやすきまなどは、あらかじめコーキング材・シーリング材・セメントなどで補修しておきます。
- 塗る面の汚れ・ホコリ・カビなどを取り、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
- 塗料がついて困るころは、あらかじめマスキングテープなどでおおっておきます。
- あらかじめ必ずアサヒペンかわら塗料専用シーラーかアサヒペン油性シーラー、または強浸透水性シーラーで下塗りをしておきます。
- フタと容器の間にマイナスドライバーを差し込み、フタに手をそえながら開けます。
- 塗料は、棒などで容器の底までよくかき混ぜて均一にします。
- 塗料の粘度が高くて塗りにくいときは、水で少し(10%以内)うすめます。夏期、塗表面が高湿となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合は、さらに少しずつうすめて調整します。
- 瓦の重なった部分など塗りにくいところは、先にすじかいバケで塗ります。
- 広い面積の部分は、瓦用ハケなど大きいハケで軒先に対して縦に塗ります。(横塗りするとホコリなどがたまります) またローラーバケ・アサヒペンペイントスプレーヤーなどを使うと、さらに速く塗ることが出来ます。
- 瓦の重なり部が塗料で詰まった場合には、皮スキ、カッターナイフ等で塗料を縁切りして下さい。(塗料が詰まると雨漏り発生の原因となる恐れがあります)
- 塗装が終わったら、ハケや用具は乾かないうちに水で洗います。
- 残った塗料は、固くフタをして保管します。
- マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
- 塗装後1日以上、充分に乾燥させます。不十分な場合、水がかかたり、雨や結露によって塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。
※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡が残らない状態)の時間です。

用具の手入れ方法

- 使用した用具は乾かないうちに、新聞紙かボロ布でできるだけ塗料を取り除き、水で洗って下さい。

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 窒息、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

取扱い上の注意

- 表示の用途以外には使用しないで下さい。
- 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないように注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、その後も塗料の臭いがあるままでは、ときどき換気をして下さい。
- 塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日、風の強い日は避け、天気の良い日に行なって下さい。
- 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- 屋根を塗る場合は、降る所が最後になるように、順序を考えて塗って下さい。また、転落事故のないよう充分に注意して作業して下さい。
- 塗料が乾燥するまでは、たいへんすべりやすいので塗膜の上を歩かないよう注意して下さい。
- 絶えず水がかかたり、水につかるところやいつも濡っているところには適しません。
1. ボタン板やアンテナなど金属面には塗らないで下さい。
2. 容器の中の塗料の色は、エマルジョン樹脂の影で表示の色と大きく異なることがあります。乾くと表示の色ようになります。
3. あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・密着性などを確かめてから塗って下さい。コーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり、密着しないものがあります。
4. 塗装を10分以上中断するときは、ハケやローラーをラップ、アルミホイルなどでつつんで、表面が乾燥しないよう注意して下さい。
5. 下地の老化の程度により防水効果の度合いが異なります。
6. 塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。
7. 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いにより異なります。
8. 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
9. やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
10. 容器を落下させるなど、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

危険



- 腐食の障害
- 水生生物に有害

下地処理の注意

塗膜のフケ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。

- ① つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。
- ② 旧塗膜を手で触って粉がつく場合は、必ずアサヒペンかわら塗料専用シーラーかアサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。

保管上の注意

1. 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしていないよう注意して下さい。
2. 直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの温度が高くなるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
3. 残った塗料は、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

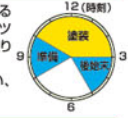
便利ガイド

こんな時は塗り替えの時期

- 塗装されていない瓦 表面が風化し粉っぽくなって、手で触れると粉がいてくる。
- 塗装された瓦 全体にツヤがなくなり、色あせが目立ち始めた。塗膜の表面が粉っぽくなって、手で触れると粉がついてくる。塗膜がはがれたり、はがれかっている。

塗装に適した時間帯

- 夕方から早朝にかけては気温が低くなり、結露する場合があります。塗膜が乾燥途中に結露するとツヤビケやハガレを生じることがありますので、塗り終わりが遅くならないように注意しましょう。塗装は天気の良い10時~15時頃を目安に行い、その前後に準備や後始末をしましょう。



塗り面積の目安

瓦の種類により屋根面積(横×縦)に次の数字をかけた面積を目安にして下さい。

セメント瓦 屋根面積×1.3	波形スレート 屋根面積×1.3
スレート瓦 屋根面積×1.1	

こんな場合には

- コロニアルや瓦などがヒビ割れている場合には「かわら用コーキング材」でヒビ割れの補修をします。その他にアクリルコーキング材や変性シリコーンのコーキング材も塗料の上塗りできますが、シリコーンのコーキング材は塗料の上塗りができません。
- 下塗りはアサヒペン(かわら塗料専用シーラー)・〈油性シーラー〉・〈強浸透水性水性シーラー〉は浸透性に優れ、下地を補強し、上塗り塗料の密着性を強めます。かわらの表面が粉っぽくなっている場合は必ずアサヒペンかわら塗料専用シーラー・〈油性シーラー〉・〈強浸透水性水性シーラー〉のいずれかのシーラーで下塗りしましょう。

株式会社 アサヒペン

大阪市鶴見区鶴見 4-1-12 <http://www.asahipen.jp>

お客様相談室
06-6934-0300 日本製 00-1304